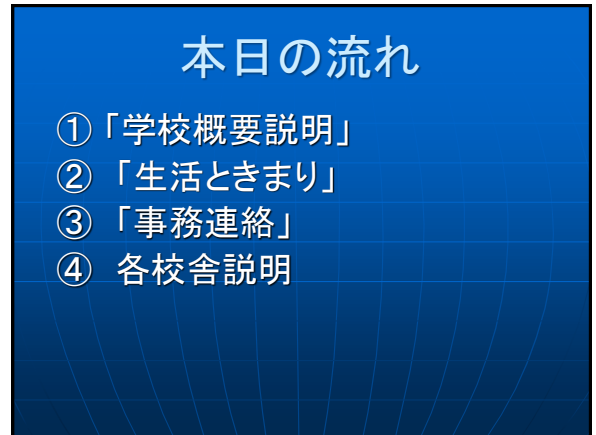




1



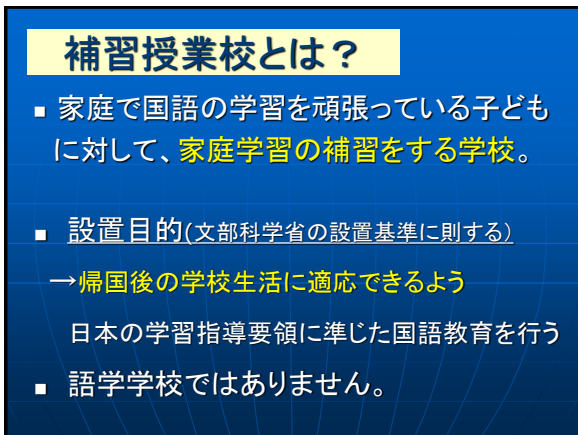
2



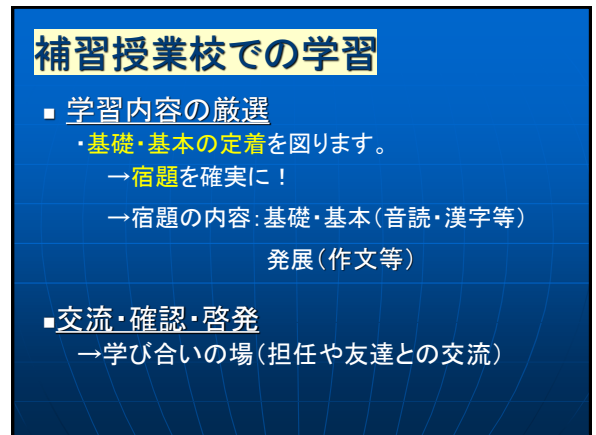
3



4



5



6

補習授業校(3つの校舎)

ロンドン補習授業校(3名の派遣教員)

アクトン校舎



591名

派遣教員

講師: 37名

ブレント校舎



317名

派遣教員

講師: 21名

クロイドン校舎



184名

派遣教員

講師: 14名

7

■ 子どもに適した学びの場の選択を

◇ 小学部・中学部・高等部

(高等部は、アクトン校舎にのみ設置)

…日本の教科書で、日本の学習指導要領に準じた学習をする <はやく進む>

◇ 日本語科

(日本語科は、アクトン校舎にのみ設置)

…日本の教科書で、日本の学習指導要領に準じた学習をする <ゆっくり学習>

8

教材

主教材

小・中学部・高等部は、**国語教科書**を使用
日本語科は、**小学部教科書**などを使用

副教材

小・中学部・日本語科は、**ドリル類**を配付
全学部・学科で、**適宜ワークシート**を活用

9

■ 日本の学校との時間数の違い

例) 小学1年生の国語科学習時間

日本 = 年間306コマ (9コマ/週)

※1コマ 45分

補習校 = 年間120コマ (3コマ/週)

※1コマ 40分

年間授業時数は、日本の1/3強しかない

10

補習校で、学力が定着していくための三条件

■ 補習校を休まない・休ませない

→ 1日の授業内容は速くて濃密

■ 家庭学習と日本語環境の充実

→ 毎週の宿題への取り組みと支援

→ 日常会話・読書(音読)などの国語環境の整備

■ 意欲の継続・喚起・励まし

→ 声かけ

子どもを中心に据えた家族の生活プランが大切

11

留年制度があります

学年相当の力がついていないまま、進級した場合、次学年の授業がほとんど分からず、日本語学習にお子様が興味を失ってしまう。

→ 留年して学年相当の力をつけてから進級する。

① 出席数が不足の場合

② 学力定着が十分でない場合

* 飛び級制度はない。

* 1学年下げて入学した場合は、留年ではなく退学となる。

* 1学年下げて入学した場合、年度途中で上の学年に進級することはできない。

12

進級・卒業・退学の条件としての出席率による運営規定	
進級・卒業できる出席率	年間授業日数の7割を上回る出席率 理由の如何を問わず、7割未満の場合は原級留置（留年）とする。
原級留置（留年）回数制限	同学年で学ぶのは最大2年までとする。 原級留置（留年）は小学部・中学部を通じて1回までとする。
退学勧告となる出席率	年間授業日数の3割を下回る出席率 年度途中での退学措置はとらず、年度末での退学とする。
出席日数への代替措置制度	日本の小学校・中学校へ体験入学した場合は、別紙届の提出をもって、補習授業校出席日数に置き換える。 日本での体験入学5日につき補習授業校1日の出席に置き換える。

13

保護者の役割(必須)

(1)家庭学習のサポート

(2)運営に対する協力

14

(1)家庭学習のサポート

- 反復・定着・予習

保護者は第2の担任・家庭は第2の教室

子どもの学習に対する支援の具体例

- 音読(教科書を読めるようにしておく)
- 作文・漢字(そばについて確認する)
- 読み聞かせ・読書(習慣化の定着)
- 日本語体験を増やす(日本語会話時間)
- テレビやインターネットの有効活用 等

学力向上は家庭学習が鍵！

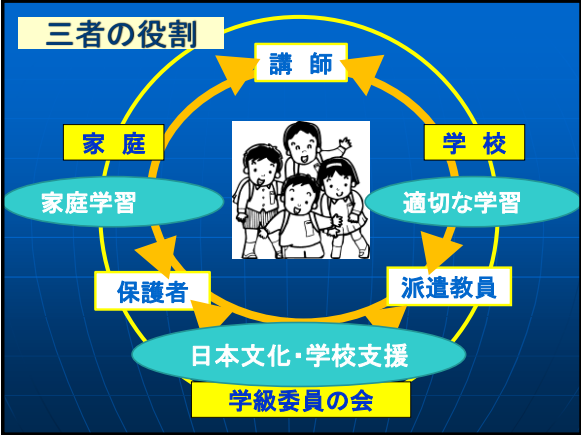
15

(2)運営に対する協力

- 学校支援活動への従事
 - どの校舎も、派遣教員は1名
 - 講師は、子どもの学習指導に従事
 - したがって、学級委員の会の皆さんに多くの活動をしていただいている。
 - ◎学級委員の会の活動は必須参加(例:安全当番・図書当番等)
- 学校行事への参加、協力
 - 授業参観や学級懇談会
 - 運動会やカルタ集会等の手伝い

子どもたちのために
安心安全な学校を！

16



17

② 生活ときまり

18

登下校

登 校

- 9:30までに指定の経路を通して各教室へ。
教室で静かに学習の準備をすること。

下 校

- 12:15、帰りの会終了予定
- 小2以上の待ち合わせの場所は各家庭で確認すること。

19

持ち物

日本語での記名を
お願いします！

- 教科書・副教材
- ノート・筆記用具、等
- 水筒→任意ですが、ぜひ持参を（水・お茶）
- マスク着用（任意）、ハンカチ
- 授業に関係の無いものは持っていない

校内は飲食禁止。食べ物は持って来ない。
ゲームやボールなどの遊具も持ち込み厳禁。

20

副教材について

- 副教材：小学部では「漢字スキル」「国語の学習」中学部では「漢字の学習」「国語のワーク」「国語便覧」を配布しています。
- 再購入（紛失の場合）
「漢字スキル」¥5
「国語の学習」¥5
「漢字の学習」¥5
「国語のワーク」¥10
「国語便覧」¥10



21

IDカード



- 写真貼付
- 日本語にて記名
- 発行年月 **2023年〇月**
- 児童生徒はカバンに携行
- 保護者は、校内で必ず着用（見えるところに）

- ・ケース ¥ 1
- ・チェーン 50P
- ・カード(再発行)50P

22

欠席する場合

無断欠席は厳禁です！

- ①前日までに欠席届を職員室か担任に提出
- ②メール・電話 → 補習校事務所へ
(火～金の午後5時まで)
電話: 020-8993-7145 (補習校 3)
sat-london@thejapaneseschool.ltd.uk
メールの場合は校舎名・学年・クラス・氏名・欠席理由を明記

■授業日当日(土)の急な欠席の場合

電話での連絡のみ。土曜日はメッセージの通りに補習校は「3」を押してください。(内線は押さない)
メールは不可。

23

欠席日の宿題、配布物の 引き取りについて

- ① 同じ学級の生徒に受け取ってもらう。
- ② 保護者が火～金曜日にアクトン校舎に取りに来る。
- ③ 同じ学級の保護者に宿題等の内容を教えてもらう。
- ④ 郵送を希望する場合、欠席届と一緒に欠席封筒一通を事前に担任に提出する。(欠席封筒は指定のとおり作成する。)

上記以外は、翌週登校した際に担任から受け取る

24

諸事変更の場合

各種届用紙は職員室もしくは本校HPより入手
＜登録事項変更＞

- ・ 申込みフォームに記載した下記の内容に変更が生じた場合は、速やかに「**住所等変更届**」にて変更箇所を知らせる。
 - ・ 住所
 - ・ 自宅、携帯電話
 - ・ メールアドレス
 - ・ 現地校

25

自己都合退学する場合

＜退学届＞

- ・ 遅くとも退学日の**2週間前までに提出**ください。
(特に帰国する場合は急いでください)

帰国する場合は

→「**教科書給付証明**」「**在学証明**」を補習校が
発行 → 日本の転校先へ提出

- ・ 担任にも連絡してください。

※ 尚、授業料の返金はありません。

26

養護について

各校舎に「**養護担当講師**」が1名ずついます

- ① 治療および投薬は**できません**
- ② 病院への搬送も**できません**
 - ・ 一時的な休息、ケガの水洗い等を行います
 - ・ ケガや体調不良の場合は職員室へ
- ③ 授業中は必ず**連絡がつく状態**にしてください。
- ④ 補習校では怪我をした際の保険に入っていません
- ⑤ 体調が戻らない場合は迎えに来ていただきます。

27

緊急連絡

- 学校からの臨時休校等の緊急連絡はテキスト、メッセージで携帯番号①に送信します。
- 緊急連絡先の携帯番号①に変更があった場合には、早急に事務所にご連絡ください。

28

事務連絡 ～授業料等について～

29

入学金と授業料

- 入 学 金 230ポンド
- 授 業 料

アクトン校舎	303ポンド(学期ごと)
ブレント校舎	294ポンド(学期ごと)
クロイドン校舎	294ポンド(学期ごと)
- 設備維持費 7 ポンド(学期ごと)(アクトン校舎のみ)

令和5年4月5日(水)～4月17日(月)
必ずこの期間にお支払いください。

30

引き続き、休憩をはさんで
校舎説明を行います

アクトン校舎



菅原補佐が
説明します。

ブレント校舎



柏原代行が
説明します。

クロイドン校舎



中村校長が
説明します。